

**JP10168348**

Publication Title:

**WHITE CEDAR CHIP-CONTAINING HEALTHY WALL COATING**

Abstract:

Abstract of JP10168348

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To obtain the subject wall-plastering material that can manifest excellent insect pest repellency, antibacterial and antifungal properties in addition to excellent properties of conventional plaster such as heat insulation capacity, hygroscopicity and appearance by admixing cristobalite and white cedar chips. **SOLUTION:** (A) Cristobalite and (B) white cedar chips are mixed, further, (C) water and (D) a natural adhesive such as konjak glue are added and they are kneaded. In this wall-plastering agent, the adsorption of the component A is so excellent that the bad smell in the room, fungi and germs are adsorbed, hinokitiol in the component B disinfects, deodorizes and fills the chamber or room with the fresh aroma of the white cedar thereby developing the same level of ataractic tranquilizing effect as that of the wood bathing. Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

-----  
Courtesy of <http://v3.espacenet.com>

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-168348

(43) 公開日 平成10年(1998) 6月23日

(51) Int.Cl.<sup>8</sup>

識別記号

F I

C 0 9 D 5/14

C 0 9 D 5/14

A 0 1 N 25/08

A 0 1 N 25/08

65/00

65/00

Z

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 7/12

Z

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 2 頁)

(21) 出願番号

特願平8-352465

(22) 出願日

平成 8 年(1996)12月13日

(71) 出願人 591223693

株式会社古代人スガオカ

青森県十和田市大字三本木字稻吉121-448

(72) 発明者 菅 岡 健 司

青森県十和田市大字三本木字稻吉121-448

株式会社古代人スガオカ内

(74) 代理人 弁理士 松田 省躬

(54) 【発明の名称】 ヒバ健康壁塗材

(57) 【要約】

【課題】 害虫忌避性、抗菌、抗カビならびに消臭性を有する壁塗材。

【解決手段】 クリストバライトとヒバチップスに水および天然粘着剤を混入して練り混ぜた壁塗材。

**【特許請求の範囲】**

【請求項1】 クリストバライトおよびヒバチップスを混合し、さらに水および天然粘着剤を混入させてなるヒバ健康壁塗材。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、害虫忌避性、抗菌、抗カビならびに消臭性を有する壁塗材に関するものである。

**【0002】**

【従来の技術】従来の壁塗材としては、石灰を、ふのりを溶かした液を混ぜて練り、わら、アサ、紙などの細片であるすさを入れてなるしっくいがある。

【0003】その他には、合板あるいは厚紙、ダンボールにて間仕切としたものがある。

**【0004】**

【発明が解決しようとする課題】古来より使用されているしっくいは、日本家屋用に保温性、吸湿性を有しすぐれたものではあるが、吸着性に難を有し、剥離あるいは崩れが生じ易い。

【0005】また、合板にあっては使用する化学塗料および化学接着剤より有害ガスが出る。そのため、特に新築家屋にあっては入居者の頭痛、めまい、いらいらが生じ社会問題となっている。

【0006】さらに厚紙およびダンボールは、軽量のたため取扱いが容易であるが、強度に劣る。

**【0007】**

【課題を解決するための手段】本発明は日本古来の伝統あるしっくいと同一の効能および外観を呈する上に、害虫忌避性、抗菌、抗カビ性を有する新壁塗材を提供するものである。

【0008】材料としてヒバの原生林の土壌であるクリストバライト（珪藻土）とヒバチップスを使用し混合するものである。

**【0009】**

【発明の実施の形態】クリストバライトとヒバチップスに水および天然粘着剤を混入して練りまぜて壁塗材を製造する。

【0010】この壁塗材は、使用するクリストバライトの吸着性が非常に優れているため室内の悪臭、カビ菌、雑菌を吸着し、一緒に混合したヒバに含まれるヒノキチオール（α-ピネン）の抗菌性で殺菌し、また消臭するばかりか、ヒバの芳香が室内に充満しさわやかであり、森林浴と同じ精神安定作用を発揮した。

【0011】なお、使用する天然接着剤としては、ふのりおよびコンニャクのりが挙げられる。

**【0012】**

【発明の効果】本発明の壁塗材は、その成分のクリストバライトによる悪臭、カビ菌、雑菌をしっかりと吸着し、もう一つの成分であるヒバのヒノキチオールにより殺菌、消臭を行なうもので非常に健康に良い壁塗材である。